



1月22日
東地申第25号

「安心して働くことができる休養室の環境整備を求める申し入れ」

団体交渉を行う！その①

暖房器具のレンタルなどが厳しい!?

健康経営を謳うJR東日本の

「社員の健康」よりも「予算優先」の姿勢が鮮明に!!

1. 田端オフィスで発生した空調交換工事中の休養室の環境整備について、首都圏本部としての認識を示すこと。

回答:田端オフィスにおける空調交換工事中の休養室の環境整備については、必要な対応を行ったと認識している。

組合

- ◆ 工事計画の責任の所在を示すこと。
- ◆ 冬季にかかる工事だったが、空調の代替案は考えなかったのか。
- ◆ 社員説明がない。詳しく説明していればここまでの問題にならなかった。
- ◆ 首都圏本部として他に取組んだことはあるのか。

- 首都圏本部のプロジェクトチームと機械技術センターで計画している。今回の田端オフィスでの改良工事にあわせて「空調交換工事」も行った。10月から始めたかったが、施工側の準備ができなかったため、今回のスケジュールとなった。
- 検討したが、予算がなく、暖房器具のレンタルなどは厳しかった。
- 朝礼・タブレット・掲示で周知したと聞いている。すべてが社員周知とはならない。伝われば良いと思う。
- 窓側の部屋を他に移動した。毛布の追加を行った。工事に関しては工程の短さ、動線、区切ったの工事が可能かどうかを検討した。

会社

2. 田端オフィス休養室の防寒対策として、電気ヒーターや電気毛布等を整備しなかった理由を明らかにすること。

回答:必要な対策は実施したものと認識している。

組合

- ◆ 代替案は検討しなかったのか。
- ◆ 工事に関して、プロジェクトチームや技セから代替器具についての意見はなかったのか。

- 様々な検討を行った結果、このようになった。ヒーターや電気毛布も検討していた。他職場で使用している実績もあるが、選択制とすることも大事である。
- 工事については、モビリティ・サービスユニットも話を受けて検討していた。

会社



「安心して働くことのできる休養室の環境整備を求める申し入れ」

1月22日

東地申第25号

団体交渉を行う！その②

3. 社員の健康を第一に考え全職場の休養室の環境について、事務所衛生規則に則り整備すること。

回答:必要な整備は行っていると考えている。

組合

- ◆ 他職場では、どのようになっているのか示すこと。
- ◆ 睡眠時間は拘束時間の一部である。休養室の考え方も「事務所衛生規則」を基準することを求める。

- すべての職場の声を聞いているわけではないが、法令などは守っている。しっかり寝ることができる設備を整えている。今後は、更に良くなるように整備していく。
- 一定の基準にすることは難しいが、できることは行っていく。

会社

4. 田端オフィスにおいて社員の健康を軽視するかのような一部管理者の言動があったが、事実関係を調査し認識を示すこと。

回答:社員の健康を軽視するような発言はあったとは認識していない。

組合

- ◆ 回答には「認識していない」とあるが、現場で管理職に話したところ、しっかりと受け止めてもらえず、とても残念だ。受ける側がどう感じるかが重要である。
- ◆ 管理者は情報を持っている。持っている情報は前広に示し、意識してコミュニケーションを図ること。
- ◆ コミュニケーションがしっかり取れていれば、職場で解決していた事象だ。このようにならないようにすること。

- 軽視する発言はしていないが、誤解を招くことがあったのかもしれない。コミュニケーション不足があったと思う。残念な思いをさせてしまい申し訳ない。
- 現場には、社員に納得感が得られるコミュニケーションを行うように伝えていく。
- 田端オフィスは話しやすい職場環境だと思っている。管理者とコミュニケーションとってもらって全然構わない。より良い職場

会社

5. 管理者ならびに衛生業務を担う社員に対して、労働安全衛生管理についての教育を実施すること。

回答:引き続き、必要な教育は実施していく。

組合

- ◆ 職場の労働安全衛生管理について、他人事になっていないか。
- ◆ 統括センターでの労働安全衛生管理体制がどのようになるのか示すこと。
- ◆ きめ細やかに健康に対する議論を行うこと。

- 自覚をもって行うように教育を進めていく。
- 統括センターで指定する。衛生管理者は50名で1名必要。いままで50名以下の職場には指定していない。統括センターになり体制が強化されている一方で、課題もある。
- 今回は残念ながら、こういう形になってしまった。今回の件は、申し入れがあったことで他職場も知っている。現場で何かあった際にはお願いしたい。

会社

職場の声を出発点に、企業経営に切り込めるのが「労働組合」だ！